

# アイアイハウスのめざすもの

～アイアイハウスに関わる全ての人たちの「夢・希望・願」を実現するために、めざしていることをわかりやすくお伝えしていくコーナーです。～

第19回は、

「アイアイハウスを振り返ろう②」

です。

## ★むかしを振り返って考えることとは…？★

今年度は「アイアイハウスを振り返ろう」を4回シリーズでお伝えしていきます。2回目は、グループホーム「アイアイホーム」ができた、今をさること13年前の2003年についてお伝えしたいと思います。将来にわたり安心して地域で暮らしていけるようにと開設しました。アイアイハウスの仲間や家族の願いのもと、どんな思いで『くらしの場づくり』を進めたのか…お伝えいたします。

くらしの場づくり  
グループホームができるまで



(写真 旧グループホーム)

学校を卒業した後の居場所として、仲間がいきいきと働ける場所として、また住み慣れた地域で過ごせる場所として共同作業所アイアイハウスが誕生しました。それから13年… 仲間や家族の将来についての不安が次なる課題となりました。障害のある仲間のくらしを全て支えている家族が、病気やけがで突然入院したら… 誰が仲間のくらしを支えられるのか。無認可共同作業所時代のアイアイハウスでは、ご家族の突然の入院などのときに、日中職員が仲間と一緒にアイアイハウスで宿泊するという緊急時の対応もしていました。その中で、いざというとき仲間のくらしはどうなるのか？という不安とともにくらしへの支援のニーズが高まり、アイアイハウスも仲間のくらしの場をつくろうということが次の目標になりました。物件探しをし、第2アイアイハウスの近くの空き家になっていた大きな一軒家の大家さんに相談し、格安な家賃で貸していただけることになりました。大きな垂れ桜がある庭付きの2階建て。そこが、仲間のくらしの場所となりました。2002年から1年間、京都市の独自事業である「入居訓練事業」を行いながら、仲間、家族ともに宿泊の経験を重ねながらじっくりゆっくり考える時間や経験をもとにイメージをふくらませました。それと同時に、日中関わっている職員も実際に仲間と一緒に宿泊しながら、一人ひとりの仲間の生活について考えどんなくらしが仲間にとってよいのか考えました。2003年に4人の仲間のグループホーム『アイアイホーム』を開設しました。男女混合利用2階建てで、グループホーム専属の世話人として職員が常時3人宿泊していました。「将来にわたり安心してくらしたい」という仲間や家族の願いのもと、手探りではありましたが、経験を重ねることで『アイアイホーム』は仲間にとっては『仲間4人の家』になっていきました。

あれから、13年。昨年2月より引越しをして仲間9人の新たなアイアイホームとしてスタートしています。世話人や一緒に生活している仲間とともに、その人らしくくらしを楽しんでいます。これからも、仲間の笑顔あふれるアイアイホームをめざしてまいります。